

震災乗り越え、新たな一歩へ

監査委員の意見

公有財産の保全・維持管理に
細心の注意と
適切な事務処理を



監査委員
松沢 晶二



監査委員
松本 喜美人

災害復旧・復興支援は一段落だが、広域ごみ処理施設や新給食センターの建設など多額の費用がかかる状況にあり、更に公共施設などの再編や長寿命化等の計画もあるので財政運営は引き続き厳しいものが想定される。

財政基盤の強化、村税収納額の向上を図るため、地域経済の活性化に果敢に取り組んでいただきたい。とりわけ観光客数及び観光経済の増加対策事業の積極的な推進を期待したい。

村税収納率が着実に増えているのは評価できるが、全国的な収納率と比較するとまだ低い。財源確保と税負担の公平性の観点から一層の努力をされたい。

公有財産は大切に取り扱い、その保全・維持管理(財産の取得、処分、所管換え等の異動の記録、固定資産台帳と附属図面の合致等)の細心の注意と適切な事務処理を要望する。



鍵を受け取りホッと笑顔に。新しい生活に期待もふくらむ。
(H28.11.25 震災復興住宅入居式)

1年間の歳入・歳出の一覧と採決

区分	歳入	歳出	決算の結果	
一般会計	78億1660万円	74億5100万円	全員賛成	
特別会計	国民健康保険	13億9133万円	13億2959万円	賛成多数
	後期高齢者	8007万円	7988万円	全員賛成
	下水道事業	7億4431万円	7億4035万円	全員賛成
	農業集落排水	342万円	340万円	全員賛成
	特別会計 合計	22億1915万円	21億5323万円	
企業会計・水道事業	3億188万円	2億5267万円	全員賛成	
総合計	103億3763万円	98億5691万円		
前年度比	98.56%	100.72%		

注意：上記金額は千円以下を切り捨ててあるため、合計金額に誤差が出ています。
企業会計の水道事業には資本的収支と収益的収支がありますが、ここでは収益的収支のみ記載しています。